

拉致問題

拉致被害者の家族が主となり活動されている「救う会」。問題解決に向けて市民運動を展開しており、その署名数は1,000万筆を超えました。日本政府や救う会、ブルーリボン運動を応援、装着し、1日も早く拉致被害者を救い出さなくてはなりません。

領土・領海問題

領土を巡る問題は、全て当事国だけの問題です。歴史や法的に正しくても、その場所を実行支配していく以外の方法はありません。友好条約を結ぶことも大切ですが、祖国を守るために周辺諸国の国民に負けないように日本の領土を主張しなくてはなりません。

私たちの祖国について
考えてもらいたいこと

安全保障問題

この問題は日米安保と考えられ易いですが、本来の意味する事は如何にして自国や家族の安全を担保するのか、と言う事です。近隣諸国からの脅威にさらされる中、日本国を残すために、日米安保や地位協定などの重要案件を真剣に学び国際感覚を身に付けなくてはなりません。

国防問題

減り続ける防衛費は何を意味するのでしょうか。現状は他国との戦力比が開いていく一方です。現在の自衛隊では、この国を守る事が難しいと言わざるを得ません。一刻も早く自衛隊に纏わる問題に終止符を打ち、国防軍等の議論を活発にしていかなければなりません。

あとがき 祖国愛醸成委員会からのメッセージ

当委員会では、国際問題に対して真剣に取り組むために、様々な方にインタビューをさせていただきました。皆様からいただいたお話は、それぞれの答えであり、すべての話に正義がありました。

私たちの住む、四方を美しい海に囲まれた日本。その海の向こう側には様々な国が存在し、様々な思惑が渦巻いています。1980～90年にかけて経済力を持っていた日本は、世界の国から尊敬され、確かな国力がありました。そして、その経済力を背景に様々な発言力も持っていました。しかしながら、現在では後進国と呼ばれていた国の成長により、過去の威光は霞みつつあります。資源を輸入に頼り、市場をも欧米に頼り、果ては「日米安全保障条約」を当てにして、国防までもアメリカに頼っています。

その様な私たちの祖国日本は、本当の意味で独立国家と言えるのでしょうか。経済にせよ、軍事にせよ、世界に対して優位な位置を確保しなければ、国際問題において当該国家間で主導権を取ることはできません。当委員会では問題解決に向けて「国連軍の核武装」や「世界軍の創設」など様々なことを議論致しました。また、中山泰秀衆議院議員による「アジアの永世中立国」提言という発想がありました。しかし、それらを実現することは並大抵のことではありません。本報告書の中の4つの問題は単独の問題ではなく基本的なところで関連し合う問題であることが見えてきました。

これらの問題を解決するためには、本書をご覧いただく中で問題の根本を発想・想像していただき、自分自身の祖国である日本を思い、愛することが大切です。当委員会では皆様に対して申し上げたいことは、自国日本に誇りを持って欲しいと言う事です。誇りを持って国旗を上げる国になって欲しいと願います。それができなければ国家の存続すら危い状況になるのではないのでしょうか。決して他人事ではなく、私たち国民全てが当事者なのです。

参考文献一覧

- ・戦後史の正体 孫崎亨 創元社
- ・日米地位協定入門 前泊博盛 創元社
- ・ぼくらの祖国 青山繁晴 扶桑社
- ・守るべき人がいる 佐藤正久 ワニブックス
- ・日本の覚悟 櫻井よしこ 新潮社
- ・日本の試練 櫻井よしこ 新潮社
- ・ミタラーバランス2012版 英国国際戦略研究所
- ・自衛隊おでかけびあ 雑誌 びあ株式会社
- ・日本人はなぜ中国人、韓国人とこれほどまで違うのか 黄文雄 徳間書店
- ・日本の領土問題 保坂正康/東郷和彦 角川書店
- ・J-Wings 雑誌 イカロス出版
- ・動乱のインテリジェンス 佐藤優/手嶋隆一 新潮新書
- ・秘密戦争の司令官オバマ 菅原出 並木書房
- ・中国に立ち向かう日本、つき従う韓国 鈴置高史 日経BP社
- ・沈黙の艦隊 かわぐちかいじ 講談社
- ・平成24年日本の防衛 防衛白書 防衛相・自衛隊
- ・防衛大綱 政務調査会 国防部会
- ・初めて公開-曾我さん親子拉致の詳細 西岡力 救う会

*は13ページ「用語集」を参照

解説用語集

6カ国協議

北朝鮮の核脅威に対して日本・北朝鮮・韓国・中国・ロシア・アメリカの6カ国の外交当局の局長級の担当者が直接協議を行う会議。2003年から現在までに6回開催されている。

サンフランシスコ平和条約

WW IIにおける連合国と日本国との間の戦争状態を終結させるために、両者の間で締結された平和条約。1951年に調印され、1952年に発効。この条約により、日本は主権を回復した。

李承晩ライン

サンフランシスコ平和条約で廃止された「マッカーサーライン」に対し、日米両政府の非難を押し切り韓国が一方的に宣言した国境ライン。竹島は「李承晩ライン」によって現在まで実効支配を受けている。

マッカーサー

本名はダグラス・マッカーサー。WW II 終了後、連合国軍最高司令官として着任していた。退任演説にて語った、「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」と述べ、有名になった。トレードマークはコーンパイプ。

在日朝鮮人の帰還事業(ユートピア政策)

1950年代から1984年にかけて行なわれた運動。在日朝鮮人とその家族により、集団的な永住帰国や移住が行われた。当時、朝鮮総連が推進していた、帰国事業のこと。

SCAPIN(スキヤッピン)

連合国軍最高司令官(SCAP)から日本政府宛てに出された訓令。領土問題に様々な影響をあたえた。サンフランシスコ平和条約の発効に伴い、一部の特別な協定の結ばれたものを除き失効した。

日米地位協定

新日米安保条約の第6条に基づき、日本とアメリカの間で締結された。主に在日米軍の日米間での取り扱いなどが定められており、在日米軍の権利が保障され、日本に非常に不利な内容となっている。

領海法(中華人民共和国)

1992年2月25日 中華人民共和国が突如、領海法を独自に制定した。そこには、尖閣諸島(中国名=釣魚列島)・西南諸島・南沙諸島が自国領であると記載されている。

スクランブル(SCRAMBLE)

軍事用語で、領空侵犯や領海侵犯に対して緊急発進することを指す。戦闘機の緊急発進がよく知られている。平成23年度の緊急発進回数は400回を超えており、本年度も増加傾向にある。

武器輸出三原則

国連決議による武器禁輸措置国と紛争地域、加えて共産圏への武器輸出を禁止した原則。武器輸出を禁止している訳ではないが、事実上禁止と同じ。しかし、直接規定している日本の法律は存在しない。

Quiz回答

Quiz I:9月2日は何の日でしょうか?
答え:2 連合国の対日戦勝記念日
解説 世界基準では1945年9月2日のポツダム宣言調印日を連合国のWW II 戦勝記念日としています。

Quiz II:アメリカ軍駐留は世界何カ国?
答え:3 100ヶ国以上
解説 2010年現在、世界で147ヶ国に米軍が駐留しています。在日米軍は5万人以上で世界第2位。

Quiz III:帰国拉致被害者中リストになかったのは?
答え:3 曾我ひとみさん
解説 北朝鮮は特殊技術を持った人を狙っていたと推測されていたため、当時看護師だった曾我さんは、拉致被害者のリストに上がっていませんでした。

Quiz IV:繰り返される領空・領海侵犯、年間何回?
答え:3 400回以上
解説 平成23年度、自衛隊の緊急発進は年間400回を超。深夜の飛行機音は、ほぼ戦闘機の音です。

Quiz V:「武」という漢字、本来意味とは?
答え:2 止める
解説 「武」という漢字は、「矛を止める」と書きます。自らを守り、相手の矛を止めるという意味。

Quiz VI:JASDFとは何の略語?
答え:1 航空自衛隊
解説 Japan Air Self Defense Forceの略語です。陸上自衛隊はJGSDF(Ground)と略し、海上自衛隊はJMSDF(Maritime)と略します。

用語集